

○ 別表1 (学部の学科、研究科の専攻等の定員未充足の状況について)

学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
	(a) (人)	(b) (人)	(b)/(a)×100 (%)
＜工芸科学部＞			
応用生物学課程	198	212	107.07
生体分子工学課程	100	121	121.00
生体分子応用化学課程	98	99	101.02
高分子機能工学課程	198	222	112.12
物質工学課程	258	290	112.40
電子システム工学課程	238	285	119.75
情報工学課程	238	274	115.13
機械システム工学課程	255	297	116.47
機械工学課程	82	87	106.10
デザイン経営工学課程	158	181	114.56
造形工学課程	250	307	122.80
デザイン・建築学課程	220	223	101.36
学部共通 (3年次編入学)	90		
(夜間主コース)			
先端科学技術課程	160	165	103.13
学士課程 計	2,543	2,763	108.65
＜工芸科学研究科＞			
応用生物学専攻	80	87	108.75
生体分子工学専攻	35	39	111.43
高分子機能工学専攻	35	40	114.29
物質工学専攻	48	52	108.33
材料創製化学専攻	33	33	100.00
材料制御化学専攻	32	30	93.75
物質合成化学専攻	33	31	93.94
機能物質化学専攻	32	35	109.38
電子システム工学専攻	90	91	101.11
情報工学専攻	86	105	122.09
機械システム工学専攻	55	61	110.91
機械物理学専攻	37	38	102.70
機械設計学専攻	30	26	86.67
デザイン経営工学専攻	38	40	105.26
デザイン学専攻	50	56	112.00

建築学専攻	150	160	106.67
先端ファイブプロ科学専攻	65	71	109.23
バイオベースマテリアル学専攻	44	47	106.82
修士課程 計	973	1,042	107.09
学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
＜工芸科学研究科＞			
生命物質科学専攻	30	44	146.67
バイオテクノロジー専攻	6	3	50.00
物質・材料化学専攻	13	2	15.38
電子システム工学専攻	5	4	80.00
設計工学専攻	28	28	100.00
造形科学専攻	8	35	437.50
デザイン学専攻	10	6	60.00
建築学専攻	14	10	71.43
先端ファイブプロ科学専攻	24	71	295.83
バイオベースマテリアル学専攻	18	12	66.67
博士課程 計	156	215	137.82
専門職学位課程 計			

○ 計画の実施状況  
 学士、修士、博士の平成27年5月時点の合計は、定員充足率を90%以上満たしている。

○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成22年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,600	2,955	34	2	9	8	58	232	185	2,693	103.6%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	850	1,113	89	27	0	19	56	75	63	948	111.5%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (K) は130%未満である。

(平成23年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,600	2,897	37	1	9	13	58	201	146	2,670	102.7%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	929	1,115	91	31	0	19	53	90	76	936	100.8%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (K) は130%未満である。

(平成24年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,600	2,913	50	2	10	7	66	203	152	2,676	102.9%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	992	1,109	91	32	0	15	53	78	60	949	95.7%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (K) は130%未満である。

(平成25年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち						超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100	
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)			左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,600	2,905	53	2	10	17	70	189	143	2,663	102.4%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	992	1,156	103	32	0	15	52	90	66	991	99.9%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (K) は130%未満である。

(平成26年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,585	2,858	53	3	10	15	49	193	153	2,628	101.7%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	1,035	1,197	97	24	0	18	47	83	62	1,046	101.1%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (K) は130%未満である。

(平成27年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち						超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100	
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)			左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,543	2,763	45	5	10	14	53	143	108	2,573	101.2%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	1,129	1,257	112	35	0	18	48	82	63	1,093	96.8%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (K) は130%未満である。